

苦工同窓会

発行

苦工同窓会本部
幹事長 緒屋 隆
苦小牧市高丘6-22
TEL.0144-37-3088

令和元年度 定期総会開催

5月25日 グランドホテルニュー王子



令和元年度定期総会並びに懇親会を五月二十五日(土)、苦小牧市内のグランドホテルニュー王子において開催。
来賓の学校関係者・企業代表者(会員を含め)百名を超える百二十名近くの参加者があり、盛大に行われました。
総会は田中総会長の挨拶で始まり、続いて、来賓を代表して宮岡勝郎校長より「硬式野球部が23年振りに春季支部大会を制し、全道大会に出場する」との嬉しいニュースが伝えられました。
引き続き事務局より報告事項、協議事項の説明があり、決算・予算とも原案通り承認されました。

感謝状の贈呈
永年、支部長として同窓会発展に貢献されました次の方々に感謝状と記念品が贈呈されました。
・追分支部長 歴任
・田口重治様(機34回)
・王子施設支部長 歴任
・小島徹雄様(土52回)

懇親会
懇親会が行われました。岩本靖雄顧問の発声で宴が始まりました。
懇親会は、この4月に着任された宮岡校長・目下教頭(定)・高畑事務長の歓迎会を兼ねており、それぞれの方よりご挨拶がありました。続いて藤田寛人進路指導部長より自己紹介と挨拶がありました。
各支部の状況報告に移り、関東六華会石堂会長を皮切りに道内各支部・苦小牧市内支部の支部報告がありました。

抽選会

景品は本部を始め、田中会長、内田副会長、早来支部(鈴木支部長、追分支部(小西支部長、ミートフレンズモリ(盛川勝敏氏)、須藤文世氏から多くの景品の提供があり、懇親会に華を添えていただきました。
景品が多いため、抽選に予定より時間が掛かりました。景品の品数も多く、なり

副会長としての思い

副会長 阿萬野 一男



苦工同窓会会員の皆様におかれましては、ご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃から同窓会の活動に対しまして、ご支援・ご協力を賜り心から厚く御礼申し上げます。
昨年5月、記念すべき苦工創立95周年記念祝賀会が多くの来賓や卒業生の皆様のお出席により盛大に開催さ

れ、諸先輩が築き上げてきた母校同窓会の歴史の重みを感じることが出来ました。苦工は創立以来、2万7千名余りの卒業生を輩出してきました。しかしながら、母校や同窓会に対する思いは時代の流れとともに、少しずつ薄れてきているのが現状です。
より多くの会員の皆様と同窓会への関心を深めていただきたく、新たな取り組みが必要であると感じております。
昨年6月には、札幌支部の

定期総会に出席させていただき、諸先輩が多数おられますが、苦工在校時の思い出などを伺っているようなからお会いしているような雰囲気となり、母校の温かみと素晴らしいと感じる有意義なひと時を過ごさせて頂きました。
総会の最後には、参加者全員で校歌を熱唱し、諸先輩のパワーや絆の強さを感じることが出来ました。こうした各支部の継続した活動が大切であると改めて認識いたしました。

さてこの春、次の時代を担う仲間たちが各支部に加わったことと思います。このフレッシュな同窓生とともに、新しい時代に更に結実力を高め、来るべく創立百周年に向けて苦工同窓会の更なる発展のために微力ではありますが、田中会長を始め役員の皆様と力を合わせて活動して行きたいと思っております。
今後とも会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

令和元年度 入学式挙行される



元号が新しくなった令和元年度の苦工入学式が4月8日(月)に行われ、全日制240名、定時制12名が晴れて苦工生になりました。校長の式辞のあとに田中総会長より新入生に祝辞が述べられました。
新入生の学科別人数は全日制課程、土木・建築・電子機械・電気・環境化学・情報技術の六学科各40名、計240名。
定時制課程は、機械・建築

苦工同窓会 入会式



日苦工体育館に於いて、平成三十年卒業生の同窓会入会式が行われました。
この単独の入会式は平成二十九年から始まったもので、田中会長を始め七名の本部役員が出席し、行われました。
田中会長より「関東六華会を始め、全道・全国に支部があり、近くの支部に所属して絆を深め、活躍してほしい」と激励。
卒業式で卒業生が胸につけるコーサージュを同窓会から贈りますが、その目録を会長から卒業生代表に渡され、生徒代表からお礼の挨拶がありました。

総会スナップ



田中会長挨拶



懇親会



全員で校歌合唱